

英ポンド –ハード・ブレグジット懸念から不安定–

<英国のEU離脱に対する懸念が再燃>

10月に入り英ポンドは対米ドルで約6%下落するなど、不安定な値動きが続いています。

10月初旬にメイ首相がEU離脱に向けた交渉を「2017年3月末まで」に開始すると英国国民投票後初めて具体的に示したことをきっかけに、外国為替市場では英国のEU離脱交渉の行方に再び注目が集まっていることが足元の英ポンドの不安定な値動きの背景にあると見られます。

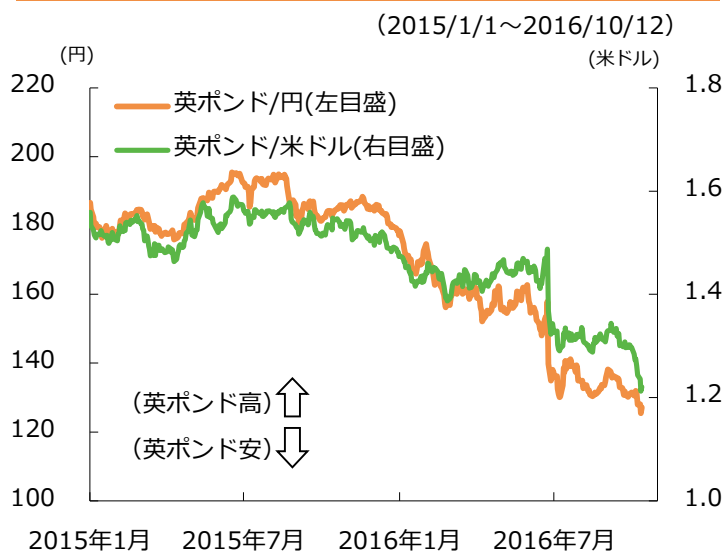
<英ポンドの足元の状況>

英ポンドは、英国の国民投票でEU離脱派が勝利したことを受けて大幅に下落した後は、英国の経済指標が市場予想を大幅に上回る堅調な結果となったことを背景に底堅い推移が続いていました。しかし、10月に入り、上述のEU離脱交渉開始時期が具体的に示されたことや5日の与党・保守党大会でのメイ首相ら高官の発言を受けて、EUとの緊密さを保って欧州単一市場への参加継続を望むよりも、移民規制を優先する「ハード・ブレグジット」となるリスクが強く意識されたことで、英ポンドは対米ドルで大きく下落しました。

<英ポンドはEU離脱交渉を巡り不安定な値動き継続か>

英経済は英国国民投票後の英ポンド安を背景に海外からの観光客が増加するなど、英経済の底堅さが英ポンドのサポート要因となってきましたが、足元では「ブレグジット」問題の負の側面が意識される状況となっています。当面はEU離脱交渉の行方を巡り、「ハード（EUに対し強硬姿勢）」か「ソフト（柔軟な姿勢）」かが意識され、メイ首相らのEUに対する発言や態度の変化に左右されやすい状況が続くと考えられ、英ポンドは不安定な値動きが続くものと考えられます。

<英ポンドの推移>



お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会